

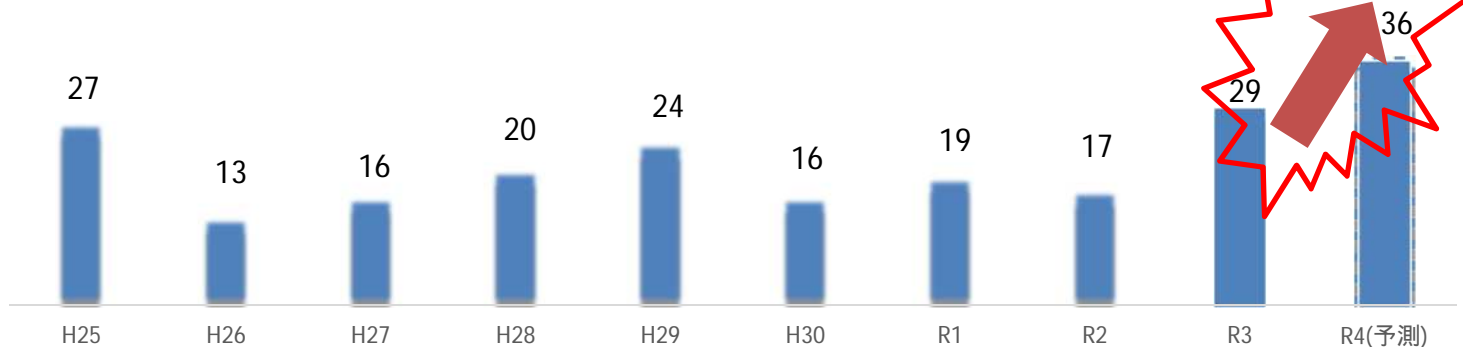
十日町市・津南町の労使の皆様へ**お願い**です！

十日町署管内転倒災害多発警報

～ 毎月6、23日に労災多発～

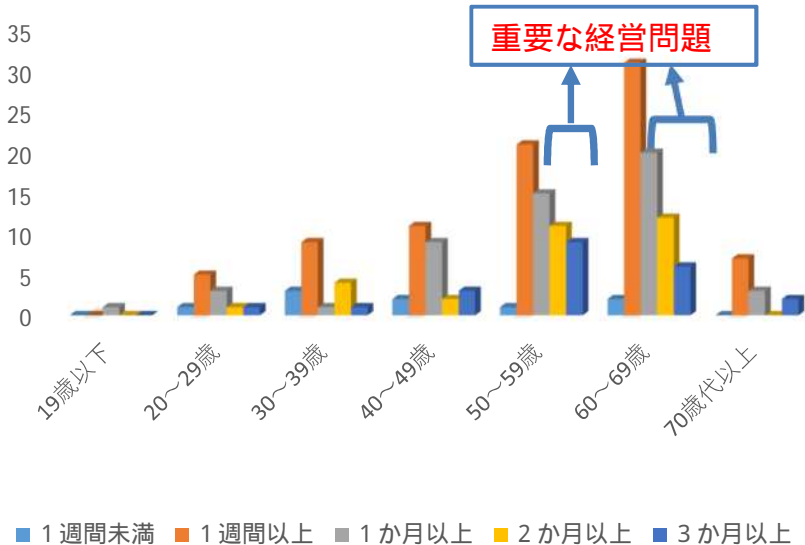
十日町労働基準監督署管内の休業4日以上[※]の転倒災害等について分析したところ、次の傾向であることが分かりました。

転倒災害の年別労働災害発生件数の推移(過去10年:H25.1.1～)

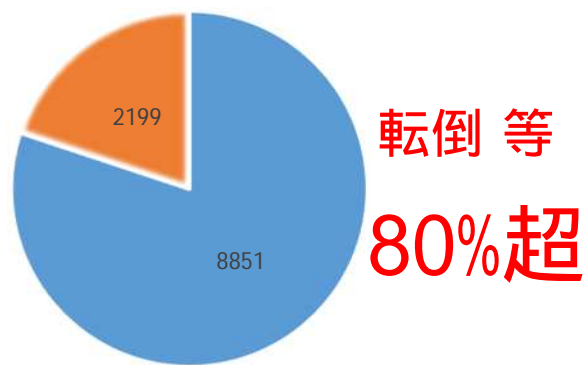


十日町署管内の転倒災害発生件数(過去10年) **最悪ペースで増加**

当署管内の転倒災害における休業見込み日数(過去10年:H25.1.1～)



65歳以上の不慮の事故による死亡者数
(転倒・転落・墜落、交通事故の内訳)



厚生労働省「令和2年人口動態調査」に基づき作成

50歳代以上を中心に休業見込み日数が長期化する傾向にあり、人手不足業界にとって重要な経営問題です。また、65歳以上の不慮の事故による死因のうち、転倒等の占める割合が非常に高いことから、日常生活の中で運動やストレッチを習慣化するなどの取り組みをお願いします。

労働災害での悲しみをゼロにするために

転倒災害のリスクが高いところに注意を促す表示を行いましょう。
転倒予防の教育・転倒防止体操、運動の習慣化に努めましょう。
安全衛生推進者等を選任し、転倒災害防止に取り組みましょう。



出典:第三次産業の事業者の皆さまへ 安全で安心な職場をつくりましょう
https://www.mhlw.go.jp/files/06-Seisaku/outline/11300000Roubukijinkyokuaranzenseibu/0000115127.pdf



転倒災害が発生しやすい状況等は次のとおりです(当署管内過去10年:H25.1.1～)

製造業 商業 保健衛生業	毎月6・23日	月・木・土曜日	始業・終業 その前後
骨折(71%)	事業場規模 50人未満	50代以上	男女比 5:5

一度被災すると

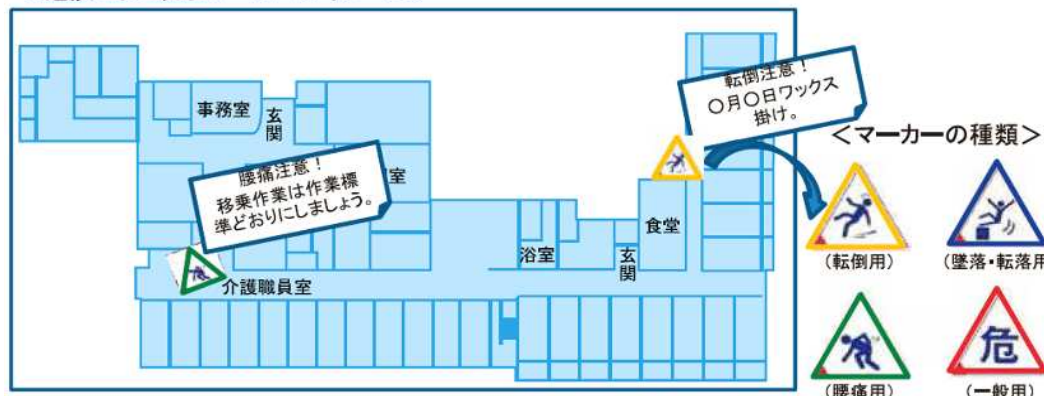
約34日間の休業を余儀なくされます。

災害事例(当署管内) 転倒災害の主な原因は「滑り」「つまづき」「踏み外し」です！

発生	業種	発生状況
R3年4月	建設業	会社内で片付け作業中、駐車場の敷鉄板に右足踵が引っ掛かり転倒。(8時台・骨折・事業場規模50人未満・50代・男性・休業見込み2か月)
R2年12月	社会福祉施設	児童と鬼ごっこをしていた際に床に散乱したレゴブロックを左足で踏みつけてしまい、バランスを崩し転倒。(15時台・骨折・事業場規模50人未満・20代・女性・休業見込み1か月)
H30年11月	飲食店	店舗内で、食器を片付けようとテーブルへ向かう途中に、足を滑らせて転倒。(13時台・骨折・事業場規模50人未満・60代・女性・休業見込み2か月)

転倒災害防止対策(危険の見える化等)

<危険マップ及びマーカーのイメージ>



転倒災害防止対策により、安心して作業が行えるようになり、作業効率の向上が見込めます。(全国安全週間、10月10日(転倒予防の日)を契機に社内の安全に対する意識を高める機会を設けることも有効です。)

出典:厚生労働省 社会福祉施設における危険の「見える化」: <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkyokuanzeneiseibu/0000069507.pdf>

毎月6、23日の作業開始直後、作業終了間近に、50歳以上の男性、女性問わず骨折を伴う転倒災害が発生しやすい状況です。(エイジフレンドリー補助金や転倒予防教育資料(転倒・腰痛予防!いきいき健康体操)のほか下記参考資料をご活用ください。)

参考資料

新潟労働局(労働安全衛生関係)
STOP! 転倒災害プロジェクト
職場の安全サイト

https://jsite.mhlw.go.jp/niigataroudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei.html

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000111055.html>

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

STOP 転倒災害

検索